

殺菌剤

ベルコート®フロアブル

イミノクタジナルベシル酸塩…………… 30.0%

種類名/イミノクタジナルベシル酸塩水和剤
農林水産省登録/第19884号(日本書連登録)
毒性/普通物*
有効年限/4年
包装/500ml×20、5ℓ×2

特 長

- 幅広い殺菌スペクトラムを有し、多くの病害に対して優れた予防効果を発揮します。
- 細胞膜に作用し、膜機能や脂質生成を阻害します。また、他剤と作用点が異なるため各種の薬剤耐性菌に対しても高い効果があります。
- フロアブル剤のため粉立ちもなく、薬剤の計量が簡単です。また作物の汚れも目立ちません。

適用病害と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法	
りんご	斑点落葉病 黒星病 輪紋病 褐斑病 すす点病 すす斑病	1000～ 1500倍	200～700ℓ	収穫前日 まで	本剤 6回 〔但し、開花期以降 散布は3回〕 イミノクタジン剤 8回 〔液剤及び水和剤は 合計6回(開花期 以降は3回)、塗布 剤は2回〕	散布	
	黒点病	1000倍					
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病 うどんこ病	1500倍		収穫14日前 まで	本剤 5回 イミノクタジン剤 5回 〔塗布剤は2回、 液剤は1回〕		
すもも	灰星病	2000倍		収穫3日前 まで	本剤 3回 イミノクタジン剤 3回		
うめ	黒星病 灰色かび病 すす斑病			収穫30日前 まで			
小粒核果類 (うめ、すもも を除く)	灰星病						
おうとう				収穫7日前 まで			
もも	灰星病 ホモフス腐敗病 黒星病	1000～ 2000倍		収穫前日 まで	本剤 3回 イミノクタジン剤 3回 〔休眠期は1回〕		無人航空機 散布
ネクタリン		1500～ 2000倍			本剤 2回 イミノクタジン剤 2回		
みかん	そうか病 貯蔵病害 (軸腐病)	1000倍		4～5ℓ	収穫前日 まで		本剤 3回 イミノクタジン剤 3回
	灰色かび病 貯蔵病害 (青かび病 緑かび病 黒腐病)	1000～ 2000倍					
	灰色かび病 貯蔵病害 (青かび病 緑かび病)	10倍	8～10ℓ				

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当たり 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
かんきつ (みかんを除く)	そうか病 貯蔵病害 (軸腐病) 幹腐病	1000倍	200～700ℓ	収穫前日 まで	本剤 2回 イミノクタジン剤 2回	散布
	灰色かび病 貯蔵病害 (青かび病) (緑かび病) 黒腐病	1000～ 2000倍				
	灰色かび病 貯蔵病害 (青かび病) (緑かび病)	10倍 20倍	4～5ℓ 8～10ℓ			無人航空機 散布
くり	実炭そ病	1000倍	200～700ℓ	収穫14日前 まで	本剤 3回 イミノクタジン剤 3回	散布
キャベツ	菌核病		100～300ℓ	収穫28日前 まで		
レタス				収穫14日前 まで		
にんじん	黒葉枯病 うどんこ病 斑点病 菌核病	8倍	2ℓ	収穫14日前 まで	本剤 2回 イミノクタジン剤 5回 〔種子粉衣は1回、 無人航空機散布 は2回〕	無人航空機 散布
	斑点病					
かぼちゃ	うどんこ病	1000～ 2000倍	100～300ℓ	収穫7日前 まで	本剤 4回 イミノクタジン剤 4回	散布
らっきょう	灰色かび病	1000倍				
たまねぎ	灰色かび病 灰色腐敗病 小菌核病			本剤 4回 イミノクタジン剤 4回		
すいか	炭そ病 うどんこ病 菌核病 つる枯病				本剤 5回 イミノクタジン剤 5回	
メロン	菌核病 うどんこ病 つる枯病	2000倍		本剤 7回 イミノクタジン剤 7回		
きゅうり	灰色かび病 うどんこ病 菌核病 褐斑病 炭そ病 黒星病				4000倍	
にがうり	うどんこ病	2000倍		本剤 3回 イミノクタジン剤 3回		
なす	灰色かび病 うどんこ病 すすかび病 黒枯病 褐紋病					

(つづく)

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法	
トマト	灰色かび病 葉かび病	2000～ 4000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	本剤 3回 イミノクタジン剤 3回	散布	
ミニトマト	うどんこ病 すすかび病	4000倍			本剤 2回 イミノクタジン剤 2回		
いちご	炭そ病 輪斑病	1000倍		育苗期 (定植前)	本剤 5回 イミノクタジン剤 10回 〔育苗期は5回、 本圃では5回〕		散布
	うどんこ病	2000～ 4000倍					
	灰色かび病 炭そ病 黒斑病	2000倍					
やまのいも	葉渋病	1000倍	3ℓ	収穫7日前 まで	本剤 5回 イミノクタジン剤 5回 〔種いもへの処理は1回、 無人航空機散布は3回〕	無人航空機 散布	
		12倍			本剤 3回 イミノクタジン剤 5回 〔種いもへの処理は1回、 無人航空機散布は3回〕		
	炭そ病	1000倍	100～300ℓ	本剤 5回 イミノクタジン剤 5回 〔種いもへの処理は1回、 無人航空機散布は3回〕	散布		
	青かび病	200倍	—			本剤 1回 イミノクタジン剤 5回 〔種いもへの処理は1回、 無人航空機散布は3回〕	1～10分間 種いも浸漬
やまのいも (むかご)			本剤 1回 イミノクタジン剤 1回				
茶	炭そ病 新梢枯死症 輪斑病	1500～ 2000倍	200～400ℓ	摘採7日前 まで	本剤 2回 イミノクタジン剤 2回	散布	
アスパラガス	斑点病	8倍	1.6ℓ	収穫開始 7日前まで	本剤 5回 イミノクタジン剤 5回	無人航空機 散布	
	褐斑病	1000倍	100～300ℓ			散布	
アイリス	青かび病	100倍	—	植付前	本剤 1回 イミノクタジン剤 8回	10分間 球根浸漬	
		200倍				30分間 球根浸漬	
チューリップ	褐色斑点病 灰色かび病	1000倍	100～300ℓ	発病前～ 発病初期	本剤 8回 イミノクタジン剤 8回	散布	

常温煙霧法の適用病害と使用方法

作物名	適用場所	適用病害名	10a当り使用量		使用時期	総使用回数*	使用方法
			薬量	使用液量			
きゅうり	温室、ガラス室、ビニールハウス等密閉できる場所	灰色かび病 うどんこ病 褐斑病 炭そ病 菌核病 黒星病	150mℓ	10ℓ	収穫前日まで	本剤 7回 イミノクタジン剤 7回	常温煙霧
なす		灰色かび病 うどんこ病 すすかび病 黒枯病 褐紋病				本剤 3回 イミノクタジン剤 3回	

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 使用の際は、容器をよく振ってください。
- 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- 5℃以下では増粘あるいは固化により、容器から取り出しにくくなるがあるので、50℃以上の湯に容器の肩まで浸し、1時間以上経過した後、室温まで放置し、よく振ってから使用してください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 無人航空機散布に関する注意については「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機（無人ヘリコプター等）散布・滴下に関する注意」をご参照ください。
- 無人航空機による散布を行う場合には、散布薬剤の飛散によって他の動植物等に影響を与えないよう、散布区域の選定に注意するとともに、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- 常温煙霧処理する場合には、次の事項に注意してください。
 - ①専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定および使用に当っては病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
 - ②作業はできるだけ夕刻行い、作業終了後6時間以上密閉してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合には、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬害

- おうとうに使用する場合、着色期の散布では薬害（着色障害）が生じるおそれがあるので使用しないでください。
- りんごの落花直後から落花後25日頃まではさび果を生じるおそれがあるので、かからないように注意してください。
- 西洋なしの品種ルレクチエではさび果を生じるので、使用しないでください。
- 缶桃14号等の缶詰用品種のももでは葉に薬斑を生じるので、かからないように注意してください。
- かきの品種西村早生では葉に薬斑を生じるおそれがあるので、かからないように注意してください。
- 幼果期のメロン、ばらに対して薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意してください。
- キャベツに使用する場合、浸透性を高める効果のある一部の展着剤を混用すると薬害を生じる場合があるので、展着剤混用に当っては事前にその適否を確認してください。
- やまのいも（むかご）に使用する場合、種いも（やまのいも）を浸漬処理してください。
- チューリップに使用する場合、花卉に薬害が生じるおそれがあるので、出蕾期以前に使用してください。

■ 蚕 毒






- 蚕に対して毒性があるので、桑にかからないように注意してください。

■ 水産動植物への注意

- 水産動植物（甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないよう調整を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。
 - 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
-    ● 薬液調製時および散布の際は保護メガネ、農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
 - 常温煙霧中はハウス内へ入らないでください。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。

■ 貯蔵上の注意

- 密栓し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2024年7月25日現在の登録内容に基づいています。